

先週末までのマーケット動向(5月2日~5月6日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,264.0	1,276.0	1,258.6	1,272.7	+16.8
JPY/KRW	9.7223	9.7708	9.6758	9.7495	+0.107
KOSPI	2,669.21	2,702.10	2,635.97	2,644.51	▲50.54

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は上昇した。29日海外時間に米金利が上昇しドル買いとなったことから、2日のドル/ウォンは1,264.0でオープン。さらに週末発表の4月中国非製造業PMI(結果: 41.9、予想:46.0)が軟調であったことが嫌気され人民元安となると、3日にかけてドル/ウォンは底堅く推移。同日海外時間にはロシアがドル建てソブリン債への利払いを実施との報道や、FOMCへの楽観的な見方が広がり、米株が上昇すると、ドル/ウォンは4日日中に週安値1,258.6まで下落した。5日未明に発表されたFOMCでは予想通り50bpの利上げとなり、パウエルFRB議長は75bpの利上げに否定的な姿勢を示したものの、FOMCの結果が市場で解釈されるにつれ、足もとのインフレを制御できないとの見方が広がり、一転してリスクオフモードに。ドル/ウォンも6日に年初来高値1,276.0まで上昇した。結局、先週末対比16.8ウォン上昇した1,272.7ウォンでクローズした。

今週の見通し

今週のドル/ウォンは底堅い展開を予想する。OPEC+での大幅増産の見送り等あり、原油価格は再び上昇している。市場はインフレ高進によるスタグレーションを懸念しつつあり、リスク性資産は総じて売られやすい状況だ。韓国も4月CPI(結果:前年比4.8%、予想:同4.4%)が高止まりする等、高インフレが改善する兆しは見えておらず、5月BOK会合(26日)での利上げの警戒感も広がりつつある。しかし日数的にはまだあり、目先は市場のドル買い圧力をうけてドル/ウォンが底堅く推移する展開を予想する。

予想レンジ

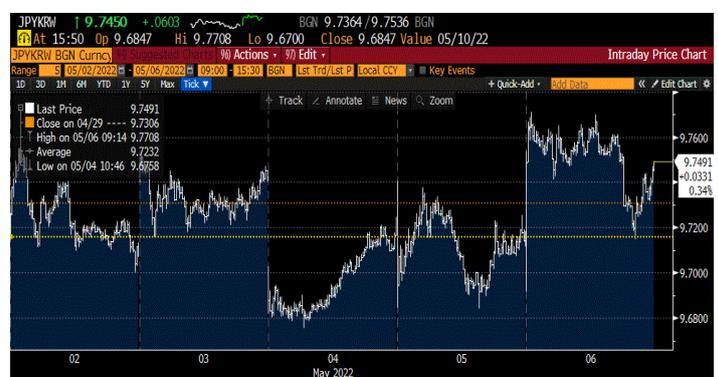
USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1255 ~ 1285	9.55 ~ 9.90	129.7 ~ 131.7

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 9日(月) 中 4月 貿易収支
- 10日(火) 韓 3月 国際収支
- 11日(水) 中 4月 PPI
- 中 4月 CPI
- 米 4月 CPI
- 韓 4月 失業率
- 12日(木) 日 3月 国際収支
- 米 4月 PPI
- 13日(金) 米 5月 ミシガン大消費者マインド指数 速報値